

11/27 (金)
19:00 ~ 21:00

於：キャンパスプラザ京都第一講義室 (地図裏面)
主催：ユナイトきょうと <http://www.unitekyoto.org/>
共催：自由と平和のための京大有志の会
参加費：無料 ※カンパいただけたら嬉しいです

火を消し止めるなら今だ!

日本学術会議問題とフェミ科研 から考える言論統制

講師 松宮孝明さん (立命館大学)

牟田和恵さん (大阪大学)

コメント 岡真理さん (京都大学)

藤原辰史さん (京都大学)

「水はいきなり煮え湯にならない。火を消し止めるなら今だ」

日本学術会議への人事介入に抗議する文脈で、作家の村山由佳さん (@yukamurayama710) が Twitter でつぶやいた言葉です。今月8日には「政府関係者」が任命拒否の理由は「反政府的」言論と語ったと報道されました。もはや言論弾圧にほかならないことを隠そうともしていません。

この数年のあいだ、政府・与党関係者が「反政府的」とみなした言論・文化表現を統制しようとする温度がふつふつと高まってきました。2018年には杉田水脈議員が「慰安婦」問題を扱った研究を「ねつ造」と決めつけ、フェミニズム思想をおとしめ、「国益を損ねる」研究に科研費を助成するのは問題だと各種メディアで繰り返しました。2019年には「あいちトリエンナーレ 表現の不自由展・その後」に出品された《平和の少女像》にかかわって菅義偉官房長官(当時)が補助金の不交付を示唆、その後、文化庁は実際に補助金不交付を決定しました。

このまま放っておいては手の出せない煮え湯になってしまう、火を消し止めるなら今だ!

そうした思いから、日本学術会議問題で任命拒否された当事者のひとり松宮孝明教授(立命館大学)と、杉田水脈議員を名誉毀損で訴えている「フェミニズム科研費裁判」(フェミ科研)原告のひとり牟田和恵教授(大阪大学)をお招きして緊急集会を開くこととしました。

主催団体の「ユナイトきょうと」は、来年早々にも予想される衆議院議員解散・総選挙に向けて市民の力を結集することを目指したグループです。与党支持者の方も含めて、今の菅政権がやっていることをさすがにおかしいと感じる方々と共に現在の「温度」を確かめつつ、「火の消し止め方」についても考えたいと思います。

キャンパスプラザの規程によりマスクを着用していない場合には入館できない場合がございます。また発熱などの症状のある方は参加をお控えください